

<比較検討>

| 発電炉 工認手続きガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|---|---|---|--|
| <p>2. 工事の計画の認可及び届出及び認可手続の範囲 (2) 工事計画に記載すべき設備及び機器等の範囲</p> <p>工事計画に記載しなければならない事項は、規則第9条第2項又は第12条第2項で発電用原子炉施設の種別に応じて規則別表第2の中欄で定めるものとされており、規則別表第2の中欄において、設備ごとにさらに機器等の単位で記載要求事項を定めている。この規則別表第2に規定されている記載要求事項については、少なくとも技術基準規則への適合性を示す上で必要十分な内容が記載される必要があり、以下では、規則別表第1における設備及び機器等の規定も含めて、機器等の仕様に関する記載要求範囲と設備及び機器等の記載要求範囲に分けて示す。</p> | <p>2 設工認申請における仕様表の作成要領</p> <p>1. 目的</p> <p>仕様表を記載する設備について、記載の統一及び一貫性を図ることを目的として仕様表の作成要領を策定する。 なお、記載例については、別紙1に示す。</p> <p>2. 具体的な仕様表の作成方法</p> <p>2.1 資料構成</p> <p>(1) 仕様表の資料構成は以下とする。</p> <p>a. 申請対象設備については、<u>事業変更許可申請書に記載の施設区分の順番</u>に記載する。施設区分の記載順を以下に示す。</p> <p><u>①廃棄物管理設備本体</u> <u>②その他廃棄物管理設備の附属施設</u> <u>・気体廃棄物の廃棄施設</u></p> <p>b. 仕様表記載対象設備は「申請範囲」※1により対象設備を明確化する。</p> <p>c. 仕様表は、1 設備につき1 件とし、複数の設備（系統）区分※2の機能を有する設備であっても仕様表は1 件とする。</p> <p>ただし、<u>第1貯蔵ピット/第2貯蔵ピットのように同一仕様の設備の場合は、仕様表を一つに纏めてもよい。</u></p> <p>※1：今回の手続き対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「申請範囲」に手続き対象外である旨を記載する。 (例) <u>貯蔵建屋床面走行クレーンのしゃへい容器</u> (手続き対象外)</p> <p>※2：設備（系統）区分の記載について、設備名のみで対象が自明の場合は系統名を記載しなくても良い。 (以下、各章においても同様。)</p> | <p>2 工事計画認可申請における要目表の作成要領</p> <p>1. 目的</p> <p>新規制基準対応設備のうち別表第二において設備別記載事項を記載する設備について、記載の統一及び一貫性を図ることを目的として要目表の作成要領を策定する。 なお、記載例については、別紙1に示す。</p> <p>2. 具体的な要目表の作成方法</p> <p>2.1 資料構成</p> <p>(1) 要目表の資料構成は以下とする。</p> <p>a. 申請対象設備については、<u>別表第二</u>の記載順に記載する。</p> <p>b. 要目表記載対象設備は「申請範囲」※1により対象設備を明確化する。</p> <p>c. 要目表は、1 設備につき1 件とし、複数の設備（系統）区分※2の機能を有する設備であっても要目表は1 件とする。</p> <p>※1：今回の手続き対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「申請範囲」に手続き対象外である旨を記載する。 (例) ○○ポンプ（手続き対象外）</p> <p>※2：設備（系統）区分の記載について、設備名のみで対象が自明の場合は系統名を記載しなくても良い。 (以下、各章においても同様。)</p> | <p>・別表第二はないため、記載順を明確化。</p> <p>・仕様表の合理化のため、一つに纏めることは可とする。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電炉 工認手続きガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 | | | | |
|--|--|---|----------|-----|--|------------------------|--|
| <p>2) 設備及び機器等の記載要求範囲 (前略)</p> <p>また、兼用するもの(複数の設備の機能を持ったものをいう。)、共用するものがある場合には、主たる機能に関する設備の区分で機器等を記載し、その他の機能に関する設備の区分においては、主たる機能に関する設備の区分と機器等の名称及び構成等を記載することで機能を有する範囲を明確にすれば、必ずしもそれぞれの設備区分で同じ記載をする必要はないものとする。ただし、設備区分によって記載すべき機器等の仕様等が異なる場合には、関係する設備区分での記載を網羅する必要があり、どの区分に対応した記載内容かを付記するものとする。</p> | <p>2.2 仕様表の記載方法</p> <p>(1) 施設に共通する記載</p> <p>a. 共用について</p> <p><u>(a)北換気筒のように再処理施設と一部共用する設備については、その旨を注記に記載する。</u> (別紙1 記載例 1/2 : ①参照)</p> <p>(b) 共用に関する記載ルールについて</p> <p><u>廃棄物管理施設, 再処理施設のどちらにも設備仕様は記載する。</u></p> <p>b. 兼用について</p> <p><u>仕様表作成対象設備に兼用する設備なし。</u></p> | <p>2.2 要目表の記載方法</p> <p>(1) 施設に共通する記載</p> <p>a. 共用について</p> <p>(a) ○▽発電所登録側の共用する設備の名称についての表記は以下とする。</p> <table border="1" data-bbox="1783 556 2454 741"> <thead> <tr> <th>要目表の記載方法</th> <th>記載例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設／可搬型 設備名称のあとに「(○, ○▽発電所共用)」を記載する。</td> <td>△△ポンプ (○○, ○▽発電所共用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 共用に関する記載ルールについて</p> <p>「○▽発電所登録側」に設備仕様一式を記載する。</p> <p>b. 兼用について</p> <p>(a) 複数の設備(系統)区分で兼用する設備の記載方針</p> <p>①従前の規制より複数の設備(系統)区分の設計基準対象施設として使用しているもの(残留熱除去系ポンプ等)は、従前の規制手続きと同様に主たる機能に着目し、設計基準対象施設として「主たる設備(系統)区分」のみに記載する。</p> <p>②新たな規制への対応のために複数の設備(系統)区分の設備として使用する以下のものは、「主となる設備(系統)区分」に加え「兼用先」にも記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の設計基準対象施設を他の設備(系統)区分の設計基準対象施設として新たに兼用するものは設計基準対象施設として「兼用先」に記載する。 ・既存の設計基準対象施設を他の設備(系統)区分の重大事故等対処設備として新たに兼用するもの(ほう酸水注入ポンプ等)は重大事故等対処設備として「兼用先」に記載する。 <p>(別紙1 記載例 1/14 : ①参照)</p> | 要目表の記載方法 | 記載例 | 常設／可搬型 設備名称のあとに「(○, ○▽発電所共用)」を記載する。 | △△ポンプ (○○, ○▽発電所共用) | <p>・他の原子力施設との共用であるため、どちらの施設にも記載する。</p> |
| 要目表の記載方法 | 記載例 | | | | | | |
| 常設／可搬型 設備名称のあとに「(○, ○▽発電所共用)」を記載する。 | △△ポンプ (○○, ○▽発電所共用) | | | | | | |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手順ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---------------------|--|----|
| | | <p>・新たに追加設置した重大事故等対処設備を他の設備（系統）区分の重大事故等対処設備として兼用するもの（格納容器圧力逃がし装置、常設低圧代替注水ポンプ等）は重大事故等対処設備として「兼用先」に記載する。</p> <p>(別紙1 記載例 2/14 :①参照)</p> <p>(b) 複数の設備（系統）区分で兼用する設備の記載方法</p> <p>①複数の設備（系統）区分の機能を持つ設備を他の設備（系統）区分の設備として兼用するものは、「主となる設備（系統）区分」に「兼用先」の設備別記載事項を追加し、注記を付記する。</p> <p>②「兼用先」への記載は、文章にて「主となる設備（系統）区分」、「兼用すること」及び「設備（系統）名称」を記載する。</p> <p>(別紙1 記載例 3/14 :①参照)</p> <p>③「新たに登録する場合」の表記として、「本工事計画で」の文章を記載することで新たな登録であることを示す。</p> <p>(別紙1 記載例 3/14 :②参照)</p> <p>④設備（系統）区分によって記載すべき仕様（揚程等）が異なるものについては、その異なる仕様を一つの要目表にまとめて記載する。この場合、複数の仕様が併記されるため、該当する仕様に注記を付記し、対応する設備（系統）区分が明確になるように記載する。</p> <p>(別紙1 記載例 4/14 :①参照)</p> <p>(c) 「主となる設備（系統）区分」と「兼用先」の要目表の関連付け</p> <p>①「主となる設備（系統）区分」には、「兼用先」の「設備（系統）区分」がわかるように、また「兼用先」には、「主となる設備（系統）区分」がわかるように記載し、互いの関連付けを行う。</p> <p>記載は、「主となる設備（系統）区分」の名称欄に注記を付記し、「兼用先」の全ての設備（系統）区分を記載する。</p> <p>これにより、「兼用先」同士の関連性が明らかになるため、「兼用先」では、「主となる設備（系統）区分」のみを記載する。</p> <p>(別紙1 記載例 3/14 :③参照)</p> | |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手順ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---|--|----|
| | <p>a. 変更前後の書き分け</p> <p>(a) 新たな規制への対応のため設工認の手続きが必要となる設備の仕様表については、必要な仕様を「変更後」に記載し「変更前」は「-」を記載する。</p> <p>この際、既設の設備を変更後に記載する設備は、注記を付記し既設の設備である旨を記載する。この場合、注記を付記する位置については、設備全体が既設である場合は、原則代表して「名称」欄又は対象設備が複数の場合(例：貯蔵ピット)は「変更後」欄に1か所、一部の仕様に変更等がある場合は該当する仕様個別に付記する。</p> | <p>②「主となる施設区分」と「兼用先」の施設区分が異なる場合は、「施設区分」も含んで記載し、「兼用先」が同一の施設である場合には、「施設区分」の記載は行わない。 (別紙1 記載例 2/14 : ②参照)</p> <p>③「兼用する設備(系統)区分」については、別紙2の「要目表 兼用先一覧」に従い兼用先を設定する。</p> <p>(d) 「主となる設備(系統)区分」と同じ機器区分(容器、管等)が兼用先がない場合</p> <p>①「兼用先」では異なる機器区分となるが、要目表として記載できる場合は、別紙2「要目表 兼用先一覧表」の「兼用する施設・設備(系統)区分」に従い兼用先を設定し、要目表に記載する。</p> <p>②「兼用先」で要目表として記載できる機器区分がない場合、要目表には記載せず、兼用先の施設の基本設計方針の「兼用設備リスト」に設備名を記載する。</p> <p>(e) 情報提供系、サポート系(補機冷却系、換気空調系、電源系及び圧力逃がし装置の移送ポンプ及び配管)に関しては、施設区分の兼用はしない。</p> <p>c. 変更前後の書き分け</p> <p>(a) 新たな規制への対応のため工事計画の手続きが必要となる設備(以下①～⑦に示す設備)の要目表については、必要な仕様を「変更後」に記載し「変更前」は「-」を記載する。 (別紙1 記載例 5/14 : ①参照)</p> <p>この際、既設の設備を変更後に記載する設備は、注記を付記し既設の設備である旨を記載する。この場合、注記を付記する位置については、設備全体が既設である場合は、原則代表して「名称」欄又は対象設備が複数の場合(例：火災区域構造物・火災区画構造物)は「変更後」欄に1か所、一部の仕様に変更等がある場合は該当する仕様個別に付記する。 (別紙1 記載例 5/14 : ②参照)</p> | |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---|---|---|
| | <p>(b) 従前の規制範囲内での記載の適正化を行う設備の仕様については、「変更前」に記載し「変更後」には「変更なし」を記載する。</p> | <p>①重大事故等対処設備として新たに追加設置した設備 (別紙1 記載例 2/14 : ③参照)</p> <p>②従前の規制では工事計画の手続対象外であった既設設備を重大事故等対処設備として新たに登録する設備又は新たに記載する仕様</p> <p>③設計基準対象施設として新たに工事計画の手続き対象となった設備又は仕様 (別紙1 記載例 5/14 : ③参照)</p> <p>④既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に機器クラス区分が変更となることで要求事項(継手仕様等)が追加された設備</p> <p>⑤兼用設備として新たに登録する設備又は仕様 (別紙1 記載例 1/14 : ②参照)</p> <p>⑥既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として使用する設備のうち、重大事故等対処設備としての使用条件(温度、圧力等)が設計基準対象施設としての設計条件を超える仕様 (別紙1 記載例 6/14 : ①参照)</p> <p>⑦改造工事を行う設備(既工事計画書の本文記載事項の変更を伴うもの)</p> <p>(b) 従前の規制範囲内での記載の適正化を行う設備の仕様については、「変更前」に記載し「変更後」には「変更なし」を記載する。</p> | <p>・重大事故等対処設備がないため、記載しない。</p> <p>・重大事故等対処設備がないため、記載しない。</p> <p>・新たに手続き対象となった設備又は仕様はないため、記載しない。</p> <p>・機器クラス区分が存在しないため、記載しない。</p> <p>・兼用設備がないため、記載しない。</p> <p>・重大事故等対処設備がないため、記載しない。</p> <p>・改造工事を行う仕様表対象設備がないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|--|--|---|
| | <p>(c) 今回の手続対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「変更前」に仕様を記載し、「変更後」に「変更なし」と記載した上で、名称欄に注記を付記し「手続対象外」である旨を記載する。 また、「申請範囲」に手続対象外である旨を記載する。 <u>(例) 貯蔵ピット (手続対象外)</u></p> <p>(d) 今回の手続に関与しない設備については、<u>仕様表</u>の記載の適正化は行わない。</p> <p>(e) 記載の適正化として「変更前」に記載する際に、建設時の<u>設工認</u>等を出典として記載する場合において、<u>既設工認</u>本文に記載がないため添付書類又は添付図面を出典とする場合は、その添付書類又は添付図面が添付されている<u>既設工認申請書</u>の「認可年月日」、「認可番号」及び「添付書類又は添付図面の名称」を記載する。 <u>既設工認</u>の参考資料については、出典として使用しないこととする。 <u>例：注記 *1：既設工認に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、〇〇年〇〇月〇〇日付け〇〇第〇〇号にて認可された設工認の〇〇による。</u></p> <p align="right"><u>(別紙1 記載例 2/2 : ①参照)</u></p> | <p>(c) <u>従前の規制範囲と整合させるために非主配管化する範囲については、「変更前」に既工事計画書の値を記載し、「変更後」を「-」とした上で、注記を付記し「記載の適正化を行う」旨を記載する。</u> <u>(別紙1 記載例 7/14 : ①参照)</u></p> <p>(d) <u>重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用する設備については「変更前」に仕様を記載し、「変更後」に「変更なし」と記載する。この場合、当該設備がどちらの機能を有するかの識別は、基本設計方針の「主要設備リスト」で行う。</u> <u>(別紙1 記載例 1/14 : ③参照)</u></p> <p>(e) 今回の手続対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「変更前」に仕様を記載し、「変更後」に「変更なし」と記載した上で、名称欄に注記を付記し「手続対象外」である旨を記載する。 また、「申請範囲」に手続対象外である旨を記載する。 <u>(例) 〇〇ポンプ (手続対象外)</u></p> <p>(f) 今回の手続に関与しない設備については、<u>要目表</u>の記載の適正化は行わない。</p> <p>(g) 記載の適正化として「変更前」に記載する際に、建設時の<u>工事計画書</u>等を出典として記載する場合において、<u>既工事計画書</u>本文に記載がないため添付書類又は添付図面を出典とする場合は、その添付書類又は添付図面が添付されている<u>既工事計画認可申請書</u>の「認可年月日」、「認可番号」及び「添付書類又は添付図面の名称」を記載する。 <u>既工事計画書</u>の参考資料については、出典として使用しないこととする。 <u>例：注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和〇〇年〇〇月〇〇日付け〇〇資庁第〇〇号にて認可された工事計画の〇〇による。</u></p> <p align="right"><u>(別紙1 記載例 1/14 : ④参照)</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・規制範囲との整合として非主配管化する範囲がないため、記載しない。 ・重大事故等対処設備がないため、記載しない。 |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---|---|---|
| | <p>(f) <u>既設工認</u>本文の記載事項の記載の適正化を行う場合は、これらの許認可情報は記載せず、「<u>既設工認</u>」の記載を注記に記載する。</p> <p>例：注記 *1：記載の適正化を行う。既<u>設工認</u>には「〇〇」と記載。</p> <p>(別紙1 記載例 1/2 : ③参照)</p> | <p>(h) <u>既工事計画書</u>本文の記載事項の記載の適正化を行う場合は、これらの許認可情報は記載せず、「<u>既工事計画書</u>」の記載を注記に記載する。</p> <p>例：注記 *1：記載の適正化を行う。既<u>工事計画書</u>には「〇〇」と記載。</p> <p>(別紙1 記載例 1/14 : ⑤参照)</p> <p>(i) <u>既工事計画書</u>に設備自体の記載がないものを「変更前」に記載する場合は、「名称」欄又は「変更前」欄に注記を付記し、その設備仕様一式そのものが<u>既工事計画書</u>に記載がないことを示す。</p> <p>(別紙1 記載例 8/14 : ①参照)</p> <p>(j) <u>既工事計画書</u>に記載された主配管の「区間」において「〇〇ポンプから△△配管合流部まで」などと記載されている場合は「〇〇ポンプ～△△配管合流部」と記載を修正する。ただし、「区間」の範囲の見直しを伴わない修正である場合は注記を付記しない。</p> <p>例：〇〇ポンプから△△配管合流部まで ↓ 〇〇ポンプ～△△配管合流部</p> <p>(k) <u>工事計画書</u>に記載のある機器等を廃止手続きする際の記載については、「変更後」に、「撤去」または「廃止」を記載する。なお、改造にあたって別表第一対象外のポンプは変更後に「-」を記し、注記を付記する。</p> <p>・「撤去」と記載する場合：今回の申請において機器等の撤去を行うもの。</p> <p>・「廃止」と記載する場合：今回の申請においては、機器等の撤去は行わず、廃止手続きを行うもの。</p> <p>(別紙1 記載例 9/14 : ①参照) (別紙1 記載例 10/14 : ①参照)</p> | <p>・仕様表作成対象に「設備自体の記載がない」設備はないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に配管がないため、記載しない。</p> <p>・今回の申請において、廃止手続きはないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---------------------|---|---|
| | | <p>(1) <u>別表第一に該当する取替対象設備については、「変更後」に取替えを実施する旨を注記に記載する。</u> (別紙1 記載例 11/14 :①参照)</p> <p>d. 同じ設備区分で同一機器を異なる用途で使用する場合の記載について 計測制御系統施設の原子炉非常停止信号及び工学的安全施設等の起動信号に記載される検出器のように、異なる用途に対し同一の検出器を使用する場合は兼用とはならないが、使用する全ての用途が明確となるよう、注記を付記し、互いの関連付けを行う。 (別紙1 記載例 12/14 :①参照)</p> <p>e. 重大事故等対処設備としての使用時における値について (a) 既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として使用する設備のうち、重大事故等対処設備としての使用条件(温度, 圧力)が設計基準対象施設としての設計条件を超える設備については、その超える部分の仕様を「変更後」に記載する。この際、上段を設計基準対象施設としての値、下段を重大事故等対処設備としての使用時における値とし、注記を付記して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。 (別紙1 記載例 6/14 :②参照) (b) 重大事故等対処設備としてのみ使用する設備については、「最高使用圧力」及び「最高使用温度」(ポンプ等については「容量」, 「揚程」も含む)の項目欄に注記を付して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。また、既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に、機器クラス区分が変更になることで、記載が追加された管継手についても重大事故等対処設備としてのみ使用する設備として、「最高使用圧力」及び「最高使用温度」の項目欄に注記を付して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。 (別紙1 記載例 2/14 :④参照) (別紙1 記載例 4/14 :②参照)</p> | <p>・今回の申請において、取替対象設備はないため、記載しない。</p> <p>・計測制御系統施設に仕様表作成対象はないため、記載しない。</p> <p>・重大事故等対処設備がないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|--|--|---|
| <p>1) 機器等の仕様に関する記載要求範囲 (前略)</p> <p>また、配管等の「厚さ」、熱交換器（蒸気発生器を含む）、ポンプ、圧縮機、容器その他の機器等の「容量」および熱交換器（蒸気発生器含む）の「伝熱面積」等については、当該機器等の性能又は強度等が技術基準規則等に適合していることを確認したもの（以下「設計確認値」という。）と公称値を併記することとし、設計確認値の記載については、「〇〇以上」又は「〇〇以下」のように、下限又は上限である旨を明記してもよいこととする。その他、技術基準規則の規定内容に加え、以下の内容を踏まえて記載するものとする。</p> | <p>b. 設計確認値</p> <p>(a) 機器等の容量については「設計確認値」及び「公称値」を記載する。ただし、設計図書等にて「設計確認値」が明記されていない場合は、「公称値」と同一値を記載する。</p> <p>また、従来、「設計確認値」のみを記載していたものについては、原則、同一の値を「公称値」として記載する。</p> <p>(b) 「設計確認値」及び「公称値」を併記する場合は、「設計確認値」の後に括弧を付して「公称値」を記載し、注記を付して「公称値」である旨を記載する。</p> <p>c. 材料記号の記載</p> <p>(a) J I S規格に基づく材料記号の記載（施設時のJ I S規格に基づく材料記号を記載する。）</p> <p>①設備の施設以降に、J I S規格改定により材料記号が変更されたものであっても、今回の申請において施設時のJ I S材料記号を記載する。</p> <p>②既設設備の一部に最新のJ I S規格が使用されたものは、今回の申請において施設時のJ I S材料記号と最新のJ I S材料記号をそれぞれ記載する。</p> <p>(b) J I S規格以外を使用する材料記号の記載</p> <p>①企業のプライベート規格を使用している一般産業品については、使用している材料を総称する一般名を記載する。</p> | <p>f. 設計確認値</p> <p>(a) ポンプ、熱交換器、容器等の容量、熱交換器等の伝熱面積及びJ I S配管を除く配管等の厚さについては「設計確認値」及び「公称値」を記載する。ただし、設計図書等にて「設計確認値」が明記されていない場合は、「公称値」と同一値を記載する。</p> <p>また、従来、「設計確認値」のみを記載していたものについては、原則、同一の値を「公称値」として記載する。</p> <p>ただし、安全弁・逃がし弁のリフト量、主要弁の弁箱厚さ及び弁蓋厚さ等の機器仕様上の最小値を記載している場合は「設計確認値」のみ記載する。 (別紙1 記載例 1 / 14 : ⑥参照)</p> <p>(b) 「設計確認値」及び「公称値」を併記する場合は、「設計確認値」の後に括弧を付して「公称値」を記載し、注記を付して「公称値」である旨を記載する。 (別紙1 記載例 1 / 14 : ⑥参照)</p> <p>g. 材料記号の記載</p> <p>(a) J I S規格に基づく材料記号の記載（施設時のJ I S規格に基づく材料記号を記載する。）</p> <p>①設備の施設以降に、J I S規格改定により材料記号が変更されたものであっても、今回の申請において施設時のJ I S材料記号を記載する。</p> <p>②既設設備の一部に最新のJ I S規格が使用されたものは、今回の申請において施設時のJ I S材料記号と最新のJ I S材料記号をそれぞれ記載する。</p> <p>(b) J I S規格以外を使用する材料記号の記載</p> <p>①企業のプライベート規格を使用している一般産業品については、使用している材料を総称する一般名を記載する。</p> | <p>・仕様表作成対象にポンプ等がないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に安全弁等がないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|---------------------|--|--|
| <p>F. 個数</p> <p>重大事故等対処設備であって、通常運転時及び設計基準事故時には その機能に期待しないものにあつては、技術基準規則上必要な個数と バックアップの個数とを分けて記載するとともに、「〇〇以上」として、維持する必要のある個数を記載することでもよいこととする。なお、バックアップについて () を付して個数及びバックアップである旨 の注釈を記載することとする。</p> <p>一方、通常運転時及び設計基準事故時に用いるための機器等であつて、機器の点検又は取替えを効率的に行うため、繰り返しの入替えを目的として取替えを行う原子炉冷却材圧力バウンダリに係る機器等（主蒸気安全弁、主蒸気逃がし安全弁、制御棒駆動機構、改良型沸騰水型発電用原子炉施設の原子炉再循環ポンプモーターカバー及び補助カバー並びに加圧水型発電用原子炉施設の一次冷却材ポンプケーシングカバー等）については、設計上必要となる個数を記載し、予備品について () を付して個数及び予備品である旨の注釈を記載することとする。そのため、使用前検査又は供用の実績のない予備品の使用については、予備品の数の変更となり、改造の工事となる。</p> <p>G. 取付箇所</p> <p>常設の機器等（可搬型の機器等の一部で通常運転時から使用箇所に取り付けている機器等を含む。）については、属する系統の機能の独立性及び位置的分散を示すために十分な配置を説明する記載とする必要があり、また、溢水防護上の配慮が必要な機器等については、防護区画との関係及び据付高さ等を記載する必要がある。</p> <p>可搬型の機器等については、保管している場所に加え、使用時に取り付ける箇所を () を付して記載することとする。</p> | | <p>h. 個数</p> <p>(a) 可搬型設備のうち技術基準規則上、予備を必要とする設備については、括弧外に必要な数を記載し、括弧内に予備数を併記する。 (別紙1 記載例 4/14 : ③参照)</p> <p>なお、可搬型の主配管については、後述の「(2) 個別設備の記載, b. 個別事項 (配管), (c) 可搬型主配管」に示す。</p> <p>i. 取付箇所</p> <p>(a) 常設設備（可搬型設備のうち一部常設箇所を有する設備を含む。）の取付箇所については「系統名（ライン名）」、「設置床」, 「溢水防護上の区画番号」及び「溢水防護上の配慮が必要な高さ」を記載する。 ①「属する系統の機能の独立性」の確認のため、要目表へ「系統名（ライン名）」を記載し、「系統図」との関連付けを行う。ポンプ A, B や弁 A, B, C 等の複数機器を1 件の要目表に記載する場合には、その機器毎に「系統名（ライン名）」を記載する。なお、系統に接続されない機器（クレーン等）は「-」とする。 (詳細は別紙3参照)</p> | <p>・重大事故等対処設備がないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に予備品が必要な設備がないため、記載しない。</p> <p>・溢水防護対象設備がないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---------------------|--|----|
| | | <p>②「位置的分散」の確認のため、要目表へ「設置床」を記載し、「配置図」との関連付けを行う。記載欄には「建屋名称」及び機器等の「設置床レベル」を記載する。 (詳細は別紙3参照)</p> <p>③「発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書」の「防護対象設備リスト」及び「防護区画図面」との関連付けを行うため、要目表へ「溢水防護上の区画番号」を記載する。新規要求事項であるため「変更後」の欄に記載する。 なお、溢水防護の対象設備以外の機器は「-」とする。 (詳細は別紙3参照)</p> <p>④溢水防護上の配慮が必要となる機器等について、その機器が設置される区画のうち、機能喪失高さが最も低いものを選定した上で、裕度を設定して要目表へ「溢水防護上の配慮が必要な高さ」として記載する。 新規要求事項であるため「変更後」の欄に記載する。 なお、溢水防護の対象設備以外の機器は「-」とする。 (詳細は別紙3参照)</p> <p>(b) 可搬型設備の取付箇所については、「保管場所」及び「取付箇所」を記載する。</p> <p>①屋外の可搬型設備の「保管場所」は、保管場所の設置床高さ及び保管場所が特定可能な記載とする。この場合、移動可能な設備であることを考慮し設置床高さには「約」を付記する。なお、設置床高さの表記方法については、設置変更許可申請書に準じる。 (別紙1 記載例 4/14 :④参照)</p> <p>②屋外の可搬型設備の「取付箇所」は、取付箇所の設置床高さ及び取付箇所が特定可能な記載とする。 (別紙1 記載例 4/14 :⑤参照)</p> | |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---|---|--|
| | <p>d. 単位</p> <p>(a) 単位はS I単位を用いること。</p> | <p>③可搬型設備のうち一部常設箇所を有する設備については、一部常設箇所の「溢水防護上の配慮が必要な高さ」を記載し、その旨が分かるよう注記を付記する。</p> <p>④可搬型ホースについて、複数の敷設ルートがある場合には、敷設距離が最長となるルートについて注記で記載する。また、複数の長さのホースを組み合わせて使用する場合は、その内訳を注記で記載する。 (詳細は別紙4参照)</p> <p>j. S I単位換算</p> <p>(a) 既工事計画書に記載がある設備のうち、S I単位で記載されていないものについては、S I単位に換算した値を「変更前」に記載し、注記を付して「S I単位に換算した」旨を記載する。 (別紙1 記載例 7/14 :②参照)</p> <p>k. 使用前検査未完了の工事</p> <p>(a) 新規制施行前に工事の計画の認可又は届出した工事のうち、使用前検査に合格していないもので、今回の一体工事として手続きするものについては、「基本設計方針の変更の工事」として扱う。この場合、「変更前」に認可又は届出後の仕様を記載し、注記で基本設計方針の変更である旨の記載を行う。</p> <p>例：届出した工事</p> <p>注記 *1：記載内容は、既工事計画書（平成〇〇年〇〇月〇〇日付け原発本第〇〇〇号工事計画届出書）による。なお、本工事計画書は、届け出した工事計画に対して基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。</p> | <p>・仕様表の単位は全てS I単位であり、単位換算する必要がないため、単位として、今後はS I単位を用いることを記載する。</p> <p>・今回の申請において、<u>一体工事として手続きするものはないため、記載しない。</u></p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手順ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---|---|--|
| | <p>f. 防護上の配慮が必要な設備</p> <p>(a) 耐震基準変更に伴う耐震Sクラス設備、竜巻、火山又は外部火災等における防護対象であって仕様表記載対象設備の場合は、基準変更対応としての手続き対象設備として仕様表に記載する。</p> <p>g. 機能及び使用方法が同じ設備を複数台保有する場合の名称</p> <p>(a) <u>貯蔵ピットのように</u>機能及び使用方法が同じ設備を複数保有する場合の名称は、個体を識別する。</p> <p>(例) <u>第1貯蔵ピット, 第2貯蔵ピット</u></p> | <p>(b) 今回の一体工事として手続きしないものについては、別途、「工事計画」の「変更認可申請」、「変更届出」等の手続きを行う。そのため、これらに係る設備のうち今回の一体工事の手続きとして必要となるものは、要目表の「変更前」部分に「既に認可を受けた」工事計画の「変更前」の部分を記載するものとする。その場合において注記は記載しない。</p> <p>1. 防護上の配慮が必要な設備</p> <p>(a) 耐震基準変更に伴う耐震Sクラス設備、共振の影響を受ける耐震Bクラス設備、溢水防護上の配慮が必要となる防護対象設備、竜巻、火山又は外部火災等における防護対象であって別表第二の要目表対象設備の場合は、基準変更対応としての手続き対象設備として要目表に記載する。</p> <p>m. 機能及び使用方法が同じ設備を複数台保有する場合の名称</p> <p>(a) 再循環系ポンプや逃がし安全弁等、機能及び使用方法が同じ設備を複数保有する場合の名称は、「A」、「B」、「C」等の個体識別を記載せず、設備名称のみ記載する。</p> <p>(例) 保有設備「再循環系ポンプ A, B」 ↓ 要目表記載名称「再循環系ポンプ」</p> <p>(b) 弁については弁番号で記載することとし、個体識別を付記した設備名称を記載する。なお、機能及び使用方法が同じ設備についてはまとめて記載する。</p> <p>(例) 要目表記載名称「E12-F017A, B」</p> <p>n. 竜巻、内部溢水評価等の制約により分散配置を必要とする設備については、要目表の取付箇所(保管場所)欄に分散して保管する旨を記載する。(可搬型代替注水中型ポンプ等)</p> | <p>・耐震Bクラス設備を仕様表記載対象としていない、<u>また、溢水防護対象設備がないため、記載しない。</u></p> <p>・仕様表を1つに記載するため、<u>個体識別を記載する。</u></p> <p>・<u>仕様表作成対象に弁がないため、記載しない。</u></p> <p>・<u>仕様表作成対象に分散配置が必要な設備がないため、記載しない。</u></p> |

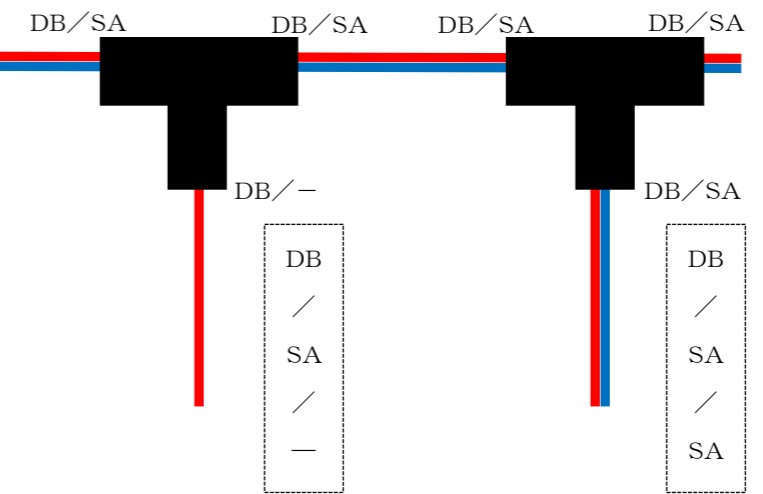
発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---------------------|---|--|
| | | <p>(2) 個別設備の記載</p> <p>a. 個別事項 (機器)</p> <p>(a) 工学的安全施設等の作動設定値において、既設の検出器を重大事故等対処設備として兼用し、ロジック回路のみ新たに構成する場合については、「変更前」を「-」とし、「変更後」に設備仕様を記載する。この場合、検出器は既設であること及び原子炉非常停止信号の検出器と兼用であることを注記する。</p> <p>(b) 非常用電源設備以外のポンプ車等に付属するポンプ駆動用の燃料タンク (車付タンク) については、補機駆動用燃料設備に記載する。また、ディーゼル機関を駆動源とする消火ポンプの燃料タンクも同様とする。</p> <p>(c) 「別表第二」記載事項のうち計測制御系統施設及び放射線管理施設に記載されている「警報装置を有する場合は、その動作範囲を付記すること。」については、設計基準対象施設、重大事故等対処設備ともに技術基準規則で要求されている計測装置のみ適用し、警報動作を適用しない設備については、「-」とする。なお、既工事計画書の記載の適正化を行う場合は、注記を付記して、警報動作を適用しない旨を記載する。</p> <p>(別紙1 記載例 13/14 : ①参照)</p> <p>(d) 中央制御室及び緊急時対策所の居住性評価において考慮する生体遮蔽装置について 中央制御室及び緊急時対策所の居住性評価において解析上遮蔽として考慮する壁等については、「中央制御室遮蔽」、「中央制御室待避室遮蔽」、「二次遮蔽」又は「緊急時対策所遮蔽」として記載する。</p> <p>b. 個別事項 (配管)</p> <p>(a) 要目表名称 主配管については用途、使用範囲等の明確化のため、以下の範囲で名称を細分化する。</p> <p>①設計基準対象施設のみの境界 ②重大事故等対処設備のみの境界</p> | <p>・ <u>重大事故等対処設備がないため、記載しない。</u></p> <p>・ <u>該当する設備がないため、記載しない。</u></p> <p>・ <u>仕様表作成対象に計測制御系統施設及び放射線管理施設がないため、記載しない。</u></p> <p>・ <u>該当する設備がないため、記載しない。</u></p> <p>・ <u>仕様表作成対象に配管がないため、記載しない。</u></p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---------------------|---|---------------------------------|
| | | <p>③重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がない境界</p> <p>④重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がある境界</p> <p>⑤兼用設備の境界</p> <p>⑥耐震重要度分類Sクラスの境界</p> <p>⑦主配管と非主配管の境界</p> <p>(b) 管継手</p> <p>①既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に、機器クラス区分が変更になることで、記載が追加された管継手は「変更前」を「-」とし、「変更後」に管継手の仕様を記載し、注記で「既設」である旨を記載する。</p> <p>また、上記のうち「T継手」については、重大事故等時に使用する流路に対して仕様を記載する。即ち、T継手の分岐部が設計基準対象施設上は主配管であっても、当該分岐部が重大事故等時に使用しない流路である場合は、当該T継手の分岐部は「-」とする。</p>  | <p>・仕様表作成対象に管継手がないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|-----------------------|---------------------|--|------------------------------------|
| | | <p>②既設の設計基準対象施設のクラス2配管の管継手に関しては、既工事計画書に記載されていないもので新規制においても主配管に該当する場合は、記載の適正化として「変更前」に管継手を追記し、その旨を注記で記載する。</p> <p>③管にエルボを含む場合は、その厚さが配管と同等以上である旨を注記で記載する。</p> <p>(c) 可搬型主配管</p> <p>①可搬型主配管のうち、可搬型ホースについては、接続する箇所が分かるような名称にするとともに、ホース1本当たりの長さを名称へ記載する。</p> <p>(例) ○○ライン△△用□□m ホース (別紙1 記載例 14/14 : ①参照)</p> <p>②外径が記載できない可搬型主配管の外径については、呼び径を記載し、その旨を注記する。 (別紙1 記載例 14/14 : ②参照)</p> <p>③厚さが記載できない可搬型主配管の厚さは「ー」を記載し、その旨を注記する。</p> <div data-bbox="1926 1094 2451 1430" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注記 *1: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。</p> </div> <p>(別紙1 記載例 14/14 : ③参照)</p> <p>・非常用発電装置の常設ホースの記載は、以下とする。</p> <div data-bbox="1926 1562 2451 1856" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注記 *1: メーカー仕様によるものとし、「発電用火力設備に関する技術基準を定める省令」に基づき、規定の圧力まで昇圧した後、適切な時間保持したとき、これに耐え、また規定の圧力で点検を行ったとき、漏えいがないものを使用する。</p> </div> | <p>・仕様表作成対象に可搬型主配管がないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|---|--|---|---|
| <p>1) 機器等の仕様に関する記載要求範囲</p> <p>規則別表第2の中欄においては、設備別記載事項として、それに係る熱交換器、ポンプ、容器その他の機器等の種類に応じて、名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所等の仕様を記載することとされており、これらの仕様については、要目表として記載することとする。このうち、個数が複数の機器等については、技術基準規則への適合性の観点で必要な場合は、それぞれの機器等の仕様分かるよう記載するものとする。また、配管等の「厚さ」、熱交換器（蒸気発生器を含む）、ポンプ、圧縮機、容器その他の機器等の「容量」および熱交換器（蒸気発生器含む）の「伝熱面積」等については、当該機器等の性能又は強度等が技術基準規則等に適合していることを確認したもの（以下「設計確認値」という。）と公称値を併記することとし、設計確認値の記載については、「〇〇以上」又は「〇〇以下」のように、下限又は上限である旨を明記してもよいこととする。その他、技術基準規則の規定内容に加え、以下の内容を踏まえて記載するものとする。</p> | <p>3. 機器等の仕様に関する記載範囲</p> <p><u>3.1 仕様表記載項目</u></p> <p><u>仕様表の記載項目については、以降に示す考え方を踏まえ、基本的な仕様表記載項目を添付-1に示す。</u></p> <p><u>(1) 仕様表へ記載する項目の考え方</u></p> <p>a. <u>名称</u> <u>対象を識別できるように、機器の名称を記載する。</u></p> <p>b. <u>種類</u> <u>形式又は形状を識別できるように、基本的な形式又は形状を記載する。</u></p> <p>c. <u>耐震クラス</u> <u>当該機器の耐震クラスが識別できるように、耐震クラスを記載する。</u></p> <p>d. <u>流体の種類</u> <u>当該機器を流れる流体を識別できるように、流体の種類を記載する。</u></p> <p>e. <u>容量</u> <u>当該機器の通常運転時等に要求される性能を明確にするため、容量を記載する。</u> <u>(例：収納管 80 本／基、定格荷重 4 t)</u></p> <p>f. <u>主要寸法</u> <u>計算書等に用いる主要な寸法を記載する。</u> <u>(例：強度計算書に記載される収納管の内径、耐震計算書に記載される収納管の長さ、厚さ)</u></p> <p>g. <u>主要材料</u> <u>計算書等に用いる主要な材料を記載する。</u> <u>(例：強度計算書に記載される使用材料、構造図に記載される使用材料)</u></p> | <p>④可搬型主配管の「個数」、「取付箇所」欄の記載について可搬型主配管の「個数」欄及び「取付箇所」欄への記載方法を、別紙4に示す。なお、詳細な個数の内訳は「設備別記載事項の設定根拠に関する説明書」に記載する。</p> | <p>・規則別表第2に相当するものとして、機器等の仕様に関する記載項目等について追加する。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|---|------------|--|
| <p>A. 容量又は注入速度及び揚程又は吐出圧力</p> <p>通常運転時、設計基準事故時又は重大事故等時等の対応に必要な性能が異なる場合には、要求される性能を列記する必要がある。容量又は注入速度及び揚程又は吐出圧力の対応関係が分かるように記載することとする。</p> | <p><u>h. 個数, 基数</u> 当該機器の個数, 基数を明確にするため, 記載する。</p> <p><u>i. 注記</u> 仕様表の記載内容をより明確にする場合等に記載する。</p> <p><u>(2) 仕様表への記載内容</u></p> <p><u>a. 名称</u> 名称は, 各機器の名称を記載する。</p> <p><u>b. 種類</u> 種類は, 原則, 事業変更許可申請書の仕様に記載されている「種類」を記載する。記載されていない場合は, 設計図書等から引用する。</p> <p><u>c. 耐震クラス</u> 耐震クラスは, 事業変更許可申請書に記載の耐震クラスを記載する。</p> <p><u>d. 流体の種類</u> 流体の種類は, 当該機器を流れる流体名称を記載する。 なお, 機器の構造上, 複数の流体名称を記載する場合は区別して記載する。</p> <p><u>e. 容量</u> 通常運転時及び設計基準事故時に要求される性能を, 事業変更許可申請書の仕様に記載されている「容量」又は詳細設計値を記載する。</p> | | <p>・ a. ～ d. の記載項目を追加。</p> <p>・ 重大事故等対処設備がないため, 通常運転時及び設計基準事故時に要求される性能を記載する。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|---|------------|---|
| <p>B. 最高使用圧力、最高使用温度 重大事故等対処設備については、重大事故等時における使用圧力以上の圧力又は使用温度以上の温度であって、設計上定めるもの（以下「重大事故等時における圧力又は温度」という。）を記載することとする。</p> <p>また、設計基準対象施設を重大事故等対処施設として使用する場合で、重大事故等時における圧力又は温度が、設計基準対象施設としての最高使用圧力又は最高使用温度を超える場合は、その対応関係が分かるように記載することとする。</p> <p>C. 加熱面積及び伝熱面積 熱の伝達性能を表す必要があり、加熱及び伝熱に有効な面積を記載することとする。その際、有効な面積の算出に必要な情報については、構造図にて図示することとする。</p> <p>D. 主要寸法、外径及び厚さ 機器等の概略を示す「たて」「横」「高さ」等の他、容器、管等の性能又は構造強度等の評価に必要となる主要な寸法、管等の外径については原則として公称値を記載することとし、容器等も含めて、厚さについては設計確認値（J I Sで定める許容差を差し引いた厚さの管の場合は除く。）及び公称値を記載することとする。なお、ホース等の一般産業品を重大事故等クラス3機器として使用する場合の厚さについては、その完成品が一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態においても、使用材料の特性を踏まえた強度を確保できる旨を設計確認値等に代えて記載することでもよいものとする。また、主要寸法については、構造図にて図示するとともに、公差についての説明を添付することとし、要目表に記載する主要寸法以外で評価に必要となる詳細な寸法は計算書や構造図において記載することとする。具体的な記載の例について参考資料1に示す。複数の盤を組み合わせて構成される無停電電源装置等の主要寸法は、分離可能な盤単位の寸法を記載することとする。</p> | <p>f. 主要寸法 機器等の概略を示す「たて」「横」「高さ」等の他、<u>強度計算等</u>に必要となる主要な寸法、管等の外径については原則として公称値を記載することとし、<u>厚さについては、設計確認値（J I Sで定める許容差を差し引いた厚さの管の場合は除く。）</u>及び公称値を記載する。</p> <p>また主要寸法については、<u>構造図にて図示するとともに、公差についての説明を添付することとし、仕様表に記載する主要寸法以外で評価に必要となる詳細な寸法は計算書や構造図において記載することとする。</u></p> | | <p>・仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</p> <p>・なお書きについては、重大事故等対処施設がないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に無停電電源装置はないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|--|------------|--|
| <p>重大事故等対処設備であって、通常運転時及び設計基準事故時にはその機能に期待しない可搬型の機器等のうち、実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈(原規技発第1306194号(平成25年6月19日原子力規制委員会決定)。以下「技術基準規則解釈」という。)第54条の一般産業品で十分な予備品を確保することで対応する場合にあっては、一般産業品(完成品)としての「たて」、「横」、「高さ」等の概略寸法(車両に設置される機器等の場合は、当該車両の概略寸法を含む。)や他の機器等との取り合いの寸法を記載することでよいこととする。</p> <p>E. 材料 機器の構造強度又は耐震強度に影響を及ぼす機器の主となる部分(1種類又は必要に応じて数種類)を構成するものとする。</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格(JSME S NC-1 日本機械学会。以下「設計・建設規格」という。)又は発電用原子力設備規格 材料規格(JSME S NJ-1 日本機械学会。以下「材料規格」という。)に規定されていない材料であって、その化学的成分及び機械的強度が設計・建設規格又は材料規格で規定する材料と同等以上である場合には、「同等材」として要目表に記載することとし、併せて、その材料の化学的成分及び機械的強度に関する事項(化学的成分及び機械的強度がJIS、ASTM等の規格に基づくものであって当該規格が公表されているものは、規格番号等を記載した書類であってもよい。)を要目表に記載することとする。その際、別紙として記載することでもよいものとする。なお、主となる部分以外のもの、詳細解析に必要となるものは、添付書類等に記載することとする。</p> <p>F. 個数(前段で記載)</p> <p>G. 取付箇所(前段で記載)</p> | <p>g. 主要材料 材料は、機器の構造強度又は耐震強度に影響を及ぼす機器の主となる部分を構成するものを記載する。</p> <p><u>JIS、ASTM等の規格に規定されていない材料であって、その科学的成分及び機械的強度がJIS、ASTM等の規格に規定する材料と同等以上である場合には、「同等材」として仕様表に記載することとし、併せて、その材料の化学的成分及び機械的強度に関する事項を仕様表に記載することとする。その際、別紙として記載することでもよいものとする。</u></p> <p>なお、主となる部分以外のもの、詳細解析に必要となるものは、添付書類等に記載することとする。</p> <p>h. <u>個数, 基数</u> <u>対象機器の個数、基数を記載する。</u></p> | | <p>・重大事故等対処施設はないため、記載しない。</p> <p>・廃棄物管理施設は、固有の設計規格が存在しないため、JIS規格等を記載した。</p> <p>・仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|---|---------------------|------------|---|
| <p>H. 原子炉冷却材又は一次冷却材の純度 沸騰水型発電用原子炉施設にあつては、pH、導電率及び塩素イオンに係るものを記載することとする。加圧水型発電用原子炉施設にあつては、pH、導電率、リチウムイオン、塩化物イオン、溶存酸素、溶存水素及び濁度に係るものを記載することとする。</p> <p>I. 制御方式及び制御方法 安全保護系にデジタル安全保護系を適用する場合には、デジタル安全保護系を適用することを記載することとする。なお、ここでいうデジタル安全保護系とは、安全保護系の論理演算機能（作動（起動）回路）がデジタル化されている設備をいう。また「原子炉の制御方法」に、制御棒価値ミニマイザによる制御方法について記載すること。</p> <p>J. 最大反応度価値 原子炉（炉心）が臨界（臨界近接を含める。）にある場合において、制御棒1本（複数の制御棒が同時に引き抜かれる場合にあつてはその制御棒全数）を引き抜くことにより炉心に生ずる反応度の変化量の最大値を記載することとする。</p> <p>K. 負の反応度添加率 全制御棒が挿入できない場合に液体制御材を注入することによって原子炉を停止する時に単位時間当たり炉心に与えられる負の反応度の量を記載することとする。</p> <p>L. 検出器の種類 計測装置及び放射線管理用計測装置においては検出原理を示すものとし、以下の例を踏まえて記載することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧力の計測－「弾性圧力検出器」等 ・温度の計測－「測温抵抗体」及び「熱電対」等 ・流量の計測－「差圧式流量検出器」及び「電磁式流量検出器」等 ・水位の計測－「差圧式水位検出器」等 | | | <p>・<u>発電炉固有の設備であるため、記載しない。</u></p> <p>・<u>仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</u></p> <p>・<u>発電炉固有の設備であるため、記載しない。</u></p> <p>・<u>発電炉固有の設備であるため、記載しない。</u></p> <p>・<u>仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</u></p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|---------------------|------------|---|
| <p>・水質の計測－「導電率検出器」等</p> <p>・放射線の計測－「電離箱」、「シンチレーション」及び「半導体式」等</p> <p>原子炉非常停止信号又は工学的安全施設等の起動信号においては、信号を発生する検出器を示すものとし、以下の例を踏まえて記載することとする。</p> <p>・「加圧器圧力検出器」、「一次冷却材温度検出器」及び「出力領域中性子検出器」等</p> <p>M. 原子炉非常停止信号又は工学的安全施設起動（作動）信号の設定値</p> <p>原子炉非常停止信号又は工学的安全施設起動（作動）信号の設定値については、上限値又は下限値であることを明確にするため、要目表に記載する値には「〇〇以下」又は「〇〇以上」と記載することとする。</p> <p>N. 中央制御室機能、中央制御室外原子炉停止機能、緊急時制御室操作機能及び緊急時対策所機能</p> <p>技術基準規則に対応して具備することとしている機能を記載する必要がある。</p> <p>O. 空気流入率</p> <p>空気流入率は、技術基準規則において居住性に係る被ばく評価を求めている中央制御室、緊急時制御室及び緊急時対策所に設置する送風機及び排風機について記載するものとする。なお、送風機及び排風機を共に有する場合は、一体として空気流入率を記載することでもよいこととする。正圧管理で流入が想定されない場合はその旨を付記するものとする。</p> <p>P. 効率、再結合効率</p> <p>効率は、公衆の放射線障害の防止を目的として設置するフィルターについて、対象とする放射性物質を除去する割合とする。</p> <p>再結合効率は、再結合装置内に流入した水素を酸素と再結合し除去する割合をいう。</p> | | | <p>・仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に当該項目を記載する必要のある設備はないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|---|---|------------|--|
| <p>2) 設備及び機器等の記載要求範囲</p> <p>規則別表第2の中欄においては、同表の上欄で示している発電用原子炉施設の種類として、原子炉本体、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設、放射性廃棄物の廃棄施設、放射線管理施設、原子炉格納施設及びその他発電用原子炉の附属施設に区分し、設備ごとに熱交換器、ポンプ、容器、貯蔵槽、ろ過装置、安全弁及び逃がし弁、主要弁、主配管、送風機、排風機並びにフィルター等の機器等を記載することとされている。これらについて、まず個別機器等の記載要求範囲を示すとともに、個別施設ごとに設備及び機器等の記載要求範囲を示す。</p> <p>また、兼用するもの（複数の設備の機能を持ったものをいう。）、共用するものがある場合には、主たる機能に関する設備の区分で機器等を記載し、その他の機能に関する設備の区分においては、主たる機能に関する設備の区分と機器等の名称及び構成等を記載することで機能を有する範囲を明確にすれば、必ずしもそれぞれの設備区分で同じ記載をする必要はないものとする。ただし、設備区分によって記載すべき機器等の仕様等が異なる場合には、関係する設備区分での記載を網羅する必要があり、どの区分に対応した記載内容かを付記するものとする。</p> | <p>j. 注記</p> <p><u>以下に示す項目に該当するものは、注記欄に記す。</u></p> <p>①波及的影響 (別紙1 記載例 1/2 : ②)</p> <p>②共用について (別紙1 記載例 1/2 : ①)</p> <p>③仕様表に記載した内容の補足 (例：〇〇を含む厚さなど)</p> <p>④「2.2 仕様表の記載方法」の記載例</p> <p>(3) 設備及び機器等の記載要求範囲</p> <p><u>廃棄物管理規則第4条に規定される特定廃棄物管理施設の種類の種類として、廃棄物管理設備本体、放射性廃棄物の受入施設、計測制御系統施設、放射線管理施設及びその他廃棄物管理設備の附属施設に区分し、設備ごとに「設工認申請における資料作成に当たっての基本的考え方」の仕様表作成対象リスト (添付-2) の機器等を記載する。</u></p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・記載項目を追加。 ・規則別表第2がないことから、仕様表作成対象リストの機器を記載する。 ・個別機器事項及び個別施設事項に該当する設備がないため、記載しない。 ・兼用設備がないため、記載しない。 |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|---------------------|------------|---------------------------------|
| <p>(個別機器等事項)</p> <p>A. 主配管</p> <p>通常運転状態、工学的安全施設の作動状態又は重大事故等時においてその配管が属する系統に求める主たる機能を果たすために本流が流れる配管をいう。使用済樹脂移送配管のように、流体が常時流れないものも含むこととする。</p> <p>ただし、放射線管理施設の換気設備においては、事故時において公衆並びに中央制御室、緊急時制御室及び緊急時対策所の従事者等の放射線障害の防止の機能として必要なもので他の設備に属さないものとする。</p> <p>本流が流れる箇所の管継手も主配管とし、要目表に記載する必要があるが、クラス3管、重大事故等クラス3管又は発電用火力設備に関する技術基準を定める省令(平成9年通商産業省令第51号。以下「火力省令」という。)を準用する管に接続する管継手であって、JIS規格若しくは設計・建設規格に適合し、管と同等以上の肉厚を有するもの又はそれらと同等の保安水準の確保が達成できるものにあつては、要目表への記載を必要としないこととする。</p> <p>また、クラス1管、クラス2管、重大事故等クラス1管又は重大事故等クラス2管であつて、母管から分岐する主配管に接続するための管台については、要目表に明記することとする。</p> <p>テストライン、ミニマムフローライン、バイパスライン(沸騰水型発電用原子炉施設に係るタービンバイパスラインは除く。)、循環ライン(容器の攪拌を目的とするライン)、ドレンライン、ベントライン及び計装ラインは主たる機能を果たすために本流が流れる配管ではないため主配管にはならないが、主配管からの分岐部は主配管の管台として必要に応じて評価対象となるほか、系統図において必要な仕様(外径、厚さ及び材料等)を記載することとする。</p> | | | <p>・仕様表作成対象に主配管がないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|---------------------|------------|---|
| <p>B. 主要弁 主配管に施設する弁のうち、「原子炉冷却材圧力バウンダリの隔離弁」、「原子炉非常停止信号又は工学的安全施設等起動（作動）信号により直接作動する自動操作弁（原子炉格納容器バウンダリの隔離弁を含む。）」及び「加圧水型発電用原子炉施設の主蒸気逃がし弁（設置許可基準規則第2条第2項第14号の重大事故等対処設備として最終的な熱の逃がし場へ輸送する設備として機能するもの）」をいう。</p> <p>C. 安全弁及び逃がし弁 通常運転状態、工学的安全施設の作動状態又は重大事故等対処設備の作動状態において、容器又は主配管の過圧破損を防止するために設置する安全弁又は逃がし弁をいう。</p> <p>D. フィルター 規則別表第2において「公衆の放射線障害の防止を目的として設置するものに限る。」又は「従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。」とされており、気体状の放射性よう素を除去するよう素（チャコール）フィルター及び放射性微粒子を除去する微粒子（高性能粒子）フィルターを記載する必要がある。 「公衆の放射線障害の防止を目的として設置するもの」としては、環境へ排気することを想定した系統（循環運転が基本であっても排気筒等へ接続する排気系統を有するものを含む。）で、放射性物質の放出を抑制、低減、又は除去するために設置するものとする。ただし、「従事者等の放射線防護を目的として設置するもの」として給気側に設置するものは「公衆の放射線障害の防止を目的として設置するもの」には含めない。</p> | | | <p>・仕様表作成対象に主要弁がないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象に主要弁がないため、記載しない。</p> <p>・仕様表作成対象にフィルターがないため、記載しない。</p> |

発電炉工認手続きガイド及び作成要領を踏まえた廃棄物管理施設の設工認作成要領【仕様表の作成要領】

<比較検討>

| 発電用原子炉施設の工事計画に係る手続ガイド | 廃棄物管理施設 設工認作成要領 (案) | 発電炉 工認作成要領 | 備考 |
|--|---------------------|------------|---|
| <p>E. 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ</p> <p>原子炉冷却材圧力バウンダリについては技術基準規則に定めるものとし、原子炉格納容器バウンダリについては、原子炉冷却材圧力バウンダリ、原子炉格納容器バウンダリの範囲を定める規程（J E A G 4 6 0 2 - 2 0 0 4 日本電気協会）に定めるものをいう。</p> <p>F. 非常用のもの</p> <p>規則別表第1又は別表第2の原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設、放射線管理施設及びその他発電用原子炉の附属施設の非常用電源設備で記載されており、設計基準事故時に機能が要求される機器等にあつては施設ごとに以下のものをいう。また、重大事故等対処設備を構成する機器等も含むものとする。</p> <p>（下表省略）</p> <p>（個別施設事項）</p> <p>（以降、施設名を記載し、文章は省略）</p> <p>G. 原子炉本体</p> <p>H. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>I. 原子炉冷却系統施設</p> <p>J. 計測制御系統施設</p> <p>K. 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>L. 放射線管理施設</p> <p>M. 原子炉格納施設</p> <p>N. その他発電用原子炉の附属施設</p> | | | <p>・ <u>発電炉固有の設備であるため、記載しない。</u></p> <p>・ <u>仕様表作成対象に非常用電源設備（予備電源）がないため、記載しない。</u></p> <p>・ <u>仕様表作成に関連しないため、記載しない。</u></p> |

仕様表 作成例

| | | | 変更前 | 変更後 |
|------------------|-------|----------------------|---|------|
| 名称 | | | 北換気筒（ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒） ^{1) 2)} | 変更なし |
| 種類 | | | 六角鉄塔支持形（制震装置付き[減衰係数：□□ ³⁾]) ⁴⁾ | |
| 設計条件 | 耐震クラス | 二 | C ⁵⁾ | |
| 仕様 | 主要寸法 | 内径 ⁶⁾ | m 1.9 | |
| | | 地表上の高さ ⁷⁾ | m 75.0 | |
| | 主要材料 | 二 | SMA41BP | |
| 個数 ⁸⁾ | | 二 | 1 | |

①の例

注記 1)：北換気筒（ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒）の支持構造物は、再処理施設と共用する。

2)：記載の適正化を行う。既設工認には「ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒」と記載。

3)：オイルダンパの減衰係数を示す。

③の例

4)：記載の適正化を行う。既設工認には「六角鉄塔支持形」と記載。

5)：支持鉄塔及び基礎は、検討用地震動 S_c で間接支持構造物としての支持機能が維持されていることの確認を行う。なお、北換気筒（ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒）は、基準地震動 S_s にて安全上重要な施設に波及的影響を与えないように設計する。

6)：記載の適正化を行う。既設工認には「出口内径」と記載。

②の例

7)：記載の適正化を行う。既設工認には「地上の高さ」と記載。

8)：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

| | | 変更前 | 変更後 |
|-------------|----|--------------------------------|-------------------|
| 名称 | | 貯蔵区域しゃへい ¹⁾ | |
| 耐震クラス | 二 | S ²⁾ | |
| 種類 (主要構造) | | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造) | |
| 壁 厚 さ | 東壁 | mm | 205 ¹⁾ |
| | 西壁 | mm | 195 ¹⁾ |
| | 南壁 | mm | 185 ¹⁾ |
| | 北壁 | mm | 205 ¹⁾ |
| | 天井 | mm | 190 |
| 主要材料 | | 鉄筋コンクリート及び鋼材 | |
| 個数 | | 1 ¹⁾ | |
| | | 変更なし | |

注記 1) : 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は平成4年7月6日付け4安第252号にて認可された設工認申請書の添付書類「I-3 放射線による被ばくの防止に関する計算書」による。

2) : 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は平成4年7月6日付け4安第252号にて認可された設工認申請書の添付書類「II-8 申請設備に係る耐震設計の基本方針」による。

①の例

仕様表の記載項目 (機種区分：建物)

| 既設工認 | | 仕様表記載案 | | | | 発電炉工認 | | | | | | | | | | |
|-------------|----------------------|--|---|--|-----|--------------------------------|----|---|-----|----------------------------|-----|-------------------------|----|----|----|----|
| d. 設計条件及び仕様 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 | 称 | ガラス固化体貯蔵建屋 | | 名称 | | 貯蔵区域しゃへい ¹⁾ | | 名称 | | 原子炉建屋原子炉棟* ¹ | | 原子炉建屋原子炉棟* ⁷ | | | | |
| 設計条件 | 耐震クラス | —* | | 耐震クラス | 二 | S ²⁾ | | 種類 (主要構造) | 二 | 鉄筋コンクリート造 (屋根は鉄骨構造) | | | | | | |
| | 放射線防護 (しゃへい体の材料及び寸法) | 材料：普通コンクリート 寸法：放射線防護の必要厚さを満足するものとする。 | | 種類 (主要構造) | 二 | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造) | | 設計気密度 | %/d | □□ | | | | | | |
| 設計仕様 | 基礎及び構造の種類 | 基礎：鉄筋コンクリート造 (べた基礎) 上部構造：鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造) | | 主要寸法 | 壁厚さ | 東壁 | mm | 205 ¹⁾ | | 主要寸法 | 壁厚さ | たて×横 | mm | □□ | | |
| | 主要寸法 | 南北方向：47.0m (外壁外面寸法) 東西方向：48.0m (外壁外面寸法) 階数：地上2階，地下2階 高さ：地上139.9m (冷却空気出口シャフトは，地上38.7m) | | | | 西壁 | mm | 195 ¹⁾ | | | | 高さ | mm | □□ | | |
| | | 主要材料 | 鉄筋：JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) に定めるSD35 鋼材：JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材) に定めるSS41及びJIS G 3106 (溶接構造用圧延鋼材) に定めるSM41A, SM50A コンクリート：JASS5Nの規定によるコンクリート 設計基準強度 300kgf/cm ³ | | | 南壁 | mm | 185 ¹⁾ | | | | 東壁 | mm | □□ | | |
| | | | 添付図 (建物各階平面図，建物断面図) | | | 第1.-1図～第1.-6図に示す。 | | 北壁 | mm | | | 205 ¹⁾ | | 西壁 | mm | □□ |
| | | | | | | 天井 | mm | 190 ¹⁾ | | | | 南壁 | mm | □□ | | |
| | | | | 主要材料 | 二 | 鉄筋コンクリート及び鋼材 | | 北壁 | mm | □□ | | 変更なし | | | | |
| | | | | 個数 | 二 | 1 ¹⁾ | | 材料 | 二 | 鉄筋コンクリート及び鋼材* ⁵ | | | | | | |
| | | | | 注記 1)：既設工認の仕様表に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は平成4年7月6日付け4安第252号にて認可された設工認申請書の添付書類「I-3 放射線による被ばくの防止に関する計算書」による。 | | | | 個数 | 二 | 1* ⁶ | | | | | | |
| | | | | 注記 2)：既設工認の仕様表に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は平成4年7月6日付け4安第252号にて認可された設工認申請書の添付書類「II-8 申請設備に係る耐震設計の基本方針」による。 | | | | 注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋[原子炉棟 (2次格納施設)，付属棟]」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には□□と記載。 *3：公称値を示す。 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和48年4月9日付け47公第12076号にて認可された工事計画書の添付図面「第3-2 図 原子炉建物耐力壁断面リスト (No.1)」，「第3-3 図 原子炉建物 耐力壁断面リスト (No.2)」による。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鋼材：JIS G 3101一般構造用圧延鋼材，JIS G 3106溶接構造用圧延鋼材，鉄筋：JIS G 3112鉄筋コンクリート用棒鋼，セメント：JIS R 5210普通ポルトランドセメントおよび中庸熱セメント，JIS R 5213フライアッシュセメント，骨材：天然砂および川砂利」と記載。 *6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。 *7：圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉建屋ガス処理系，非常用ガス再循環系，非常用ガス処理系，水素濃度抑制系) と兼用する。 | | | | | | | | |
| | | | | 発電炉に記載がある「設計気密度」は居住性に係る要求事項であるため，廃棄物管理施設の建物には適用しない。 | | | | | | | | | | | | |

表中の「□□」はマスキング対象

仕様表の記載項目 (機種区分: 貯蔵ピット)

| 既設工認 | | | | 仕様表記載案 | | | | 発電炉工認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------------------------|-------------------------|---|------------|-------|--|----------|------------|----|---|------------|-----------------|------|-------|-----|----------------------------------|---|--|------|------|-----|----|-------|----|--------|----|----------|-----|----|-------|----------------|------|----|---------|------|-----------|---|-------------------|---|---------|---|-------------------|-----|---------|-----|--------------------|--|---------|-------------------------|--|-----|---------|-----------------------------------|--|----|-----|---------|-----|-----|---------|---------|-------|-----|------------------|------|-----|------|---|--|-----|---|------------------|--|----|---|---|--|--|--|----------------|-------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|-----|----|--|--|--|-------|--|----|--|--|--|---|------------|------|-------|-----|---|-----------------|--|-----|---|-----------------|--|----|----|---|--|----------|--|---|--|----------------|--|------|-----|----|----|-----|--|----|----|------|--|----|----|-------|--|-----|----|----|-----|--|----|----|----|--|----|----|-------|--|------|-----|---|-------------------|--|-----|---|-------------------|--|----|---|----|--|
| (ガラス固化体貯蔵建屋) | | | | (ガラス固化体貯蔵建屋B棟) | | | | 該当する設備なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>二</td><td colspan="2">貯蔵ピット</td></tr> <tr><td>種類</td><td>二</td><td colspan="2">間接自然空冷貯蔵方式</td></tr> <tr><td rowspan="2">設計条件</td><td rowspan="2">耐震クラス</td><td>収納管</td><td>二</td><td colspan="2">A</td></tr> <tr><td>通風管</td><td>二</td><td colspan="2">A</td></tr> <tr><td rowspan="10">仕様</td><td rowspan="2">容量</td><td colspan="2">二</td><td colspan="2">収納管80本/基</td></tr> <tr><td colspan="2">二</td><td colspan="2">ガラス固化体9本/収納管1本</td></tr> <tr><td rowspan="2">構成</td><td>収納管</td><td>二</td><td colspan="2">天井スラブ懸架支持</td></tr> <tr><td>通風管</td><td>二</td><td colspan="2">支持架構に固定</td></tr> <tr><td rowspan="4">主要寸法</td><td rowspan="3">収納管</td><td>内径 (mm)</td><td>442</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>厚さ (mm)</td><td>11.4</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>長さ (mm)</td><td>15650</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td rowspan="2">通風管</td><td>内径 (mm)</td><td>582</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>長さ (mm)</td><td>12000</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td rowspan="2">主要材料</td><td>収納管</td><td>二</td><td colspan="2">SM41A (アルミニウム溶射)</td></tr> <tr><td>通風管</td><td>二</td><td colspan="2">SM41A (アルミニウム溶射)</td></tr> <tr><td>基数</td><td>二</td><td colspan="2">2</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>添付図 (配置図, 構造図)</td><td colspan="3">第1.1-1図, 第1.1-3図及び第2.1-2図に示す。</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr> </table> | | | | 名称 | 二 | 貯蔵ピット | | | | 種類 | 二 | 間接自然空冷貯蔵方式 | | 設計条件 | 耐震クラス | 収納管 | 二 | A | | 通風管 | 二 | A | | 仕様 | 容量 | 二 | | 収納管80本/基 | | 二 | | ガラス固化体9本/収納管1本 | | 構成 | 収納管 | 二 | 天井スラブ懸架支持 | | 通風管 | 二 | 支持架構に固定 | | 主要寸法 | 収納管 | 内径 (mm) | 442 | | | 厚さ (mm) | 11.4 | | | 長さ (mm) | 15650 | | | 通風管 | 内径 (mm) | 582 | | | 長さ (mm) | 12000 | | | 主要材料 | 収納管 | 二 | SM41A (アルミニウム溶射) | | 通風管 | 二 | SM41A (アルミニウム溶射) | | 基数 | 二 | 2 | | | | 添付図 (配置図, 構造図) | 第1.1-1図, 第1.1-3図及び第2.1-2図に示す。 | | | | | | | <table border="1"> <tr><td colspan="4"></td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td colspan="4">名称</td><td colspan="2">貯蔵ピット</td></tr> <tr><td colspan="4">種類</td><td>二</td><td>間接自然空冷貯蔵方式</td></tr> <tr><td rowspan="2">設計条件</td><td rowspan="2">耐震クラス</td><td>収納管</td><td>二</td><td colspan="2">S¹⁾</td></tr> <tr><td>通風管</td><td>二</td><td colspan="2">S¹⁾</td></tr> <tr><td rowspan="10">仕様</td><td rowspan="2">容量</td><td colspan="2">二</td><td colspan="2">収納管80本/基</td></tr> <tr><td colspan="2">二</td><td colspan="2">ガラス固化体9本/収納管1本</td></tr> <tr><td rowspan="6">主要寸法</td><td rowspan="3">収納管</td><td>内径</td><td>mm</td><td colspan="2">442</td></tr> <tr><td>厚さ</td><td>mm</td><td colspan="2">11.4</td></tr> <tr><td>長さ</td><td>mm</td><td colspan="2">15600</td></tr> <tr><td rowspan="3">通風管</td><td>内径</td><td>mm</td><td colspan="2">582</td></tr> <tr><td>厚さ</td><td>mm</td><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>長さ</td><td>mm</td><td colspan="2">12000</td></tr> <tr><td rowspan="2">主要材料</td><td>収納管</td><td>二</td><td colspan="2">SM400A (アルミニウム溶射)</td></tr> <tr><td>通風管</td><td>二</td><td colspan="2">SM400A (アルミニウム溶射)</td></tr> <tr><td>基数</td><td>二</td><td colspan="2">2基</td><td colspan="2">変更なし</td></tr> </table> | | | | | | | | 変更前 | 変更後 | 名称 | | | | 貯蔵ピット | | 種類 | | | | 二 | 間接自然空冷貯蔵方式 | 設計条件 | 耐震クラス | 収納管 | 二 | S ¹⁾ | | 通風管 | 二 | S ¹⁾ | | 仕様 | 容量 | 二 | | 収納管80本/基 | | 二 | | ガラス固化体9本/収納管1本 | | 主要寸法 | 収納管 | 内径 | mm | 442 | | 厚さ | mm | 11.4 | | 長さ | mm | 15600 | | 通風管 | 内径 | mm | 582 | | 厚さ | mm | 10 | | 長さ | mm | 12000 | | 主要材料 | 収納管 | 二 | SM400A (アルミニウム溶射) | | 通風管 | 二 | SM400A (アルミニウム溶射) | | 基数 | 二 | 2基 | |
| 名称 | 二 | 貯蔵ピット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 二 | 間接自然空冷貯蔵方式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計条件 | 耐震クラス | 収納管 | 二 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 通風管 | 二 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕様 | 容量 | 二 | | 収納管80本/基 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 二 | | ガラス固化体9本/収納管1本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 構成 | 収納管 | 二 | 天井スラブ懸架支持 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 通風管 | 二 | 支持架構に固定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主要寸法 | 収納管 | 内径 (mm) | 442 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 厚さ (mm) | 11.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 長さ (mm) | 15650 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 通風管 | 内径 (mm) | 582 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 長さ (mm) | | 12000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主要材料 | 収納管 | 二 | SM41A (アルミニウム溶射) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通風管 | | 二 | SM41A (アルミニウム溶射) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基数 | 二 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 添付図 (配置図, 構造図) | 第1.1-1図, 第1.1-3図及び第2.1-2図に示す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 変更前 | 変更後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | | | | 貯蔵ピット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | | | | 二 | 間接自然空冷貯蔵方式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計条件 | 耐震クラス | 収納管 | 二 | S ¹⁾ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 通風管 | 二 | S ¹⁾ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕様 | 容量 | 二 | | 収納管80本/基 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 二 | | ガラス固化体9本/収納管1本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主要寸法 | 収納管 | 内径 | mm | 442 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 厚さ | mm | 11.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 長さ | mm | 15600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 通風管 | 内径 | mm | 582 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 厚さ | mm | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 長さ | mm | 12000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主要材料 | 収納管 | 二 | SM400A (アルミニウム溶射) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 通風管 | 二 | SM400A (アルミニウム溶射) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基数 | 二 | 2基 | | 変更なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (ガラス固化体貯蔵建屋B棟) | | | | 注記 1): 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成18年2月28日付け平成16・10・29原第1号にて認可された設工認申請書の添付書類「II-1-3 申請設備に係る耐震設計の基本方針」による。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>名称</td><td colspan="3">貯蔵ピット</td></tr> <tr><td>種類</td><td colspan="3">間接自然空冷貯蔵方式</td></tr> <tr><td>構成</td><td colspan="3">収納管及び通風管 各80本/基</td></tr> <tr><td>容量</td><td colspan="3">ガラス固化体720本/基 (ガラス固化体9本/収納管1本)</td></tr> <tr><td rowspan="6">設計条件</td><td rowspan="3">主要寸法</td><td rowspan="3">収納管</td><td>内径</td><td>442mm</td></tr> <tr><td>厚さ</td><td>11.4mm</td></tr> <tr><td>長さ</td><td>15600mm</td></tr> <tr><td rowspan="3">通風管</td><td>内径</td><td>582mm</td></tr> <tr><td>厚さ</td><td>10mm</td></tr> <tr><td>長さ</td><td>12000mm</td></tr> <tr><td rowspan="4">主要材料</td><td>収納管</td><td>二</td><td colspan="2">SM400A JIS G 3106</td></tr> <tr><td>通風管</td><td>二</td><td colspan="2">SM400A JIS G 3106</td></tr> <tr><td rowspan="2">支持架構</td><td>二</td><td colspan="2">STKR490 JIS G 3466</td></tr> <tr><td>二</td><td colspan="2">STPG370 (支柱) JIS G 3454</td></tr> <tr><td>断熱材</td><td>二</td><td colspan="2">JIS A 9504 (人造鉱物繊維保存材) に定めるロックウール</td></tr> <tr><td>基数</td><td>二</td><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>添付図</td><td colspan="3">第1.1-1図</td></tr> <tr><td>構造図</td><td colspan="3">第1.2-3図, 第1.2-4図</td></tr> <tr><td>特記事項</td><td colspan="3">外気に直接触れる炭素鋼部については、JIS H 9300によりアルミニウム溶射を施工する。</td></tr> </table> | | | | 名称 | 貯蔵ピット | | | 種類 | 間接自然空冷貯蔵方式 | | | 構成 | 収納管及び通風管 各80本/基 | | | 容量 | ガラス固化体720本/基 (ガラス固化体9本/収納管1本) | | | 設計条件 | 主要寸法 | 収納管 | 内径 | 442mm | 厚さ | 11.4mm | 長さ | 15600mm | 通風管 | 内径 | 582mm | 厚さ | 10mm | 長さ | 12000mm | 主要材料 | 収納管 | 二 | SM400A JIS G 3106 | | 通風管 | 二 | SM400A JIS G 3106 | | 支持架構 | 二 | STKR490 JIS G 3466 | | 二 | STPG370 (支柱) JIS G 3454 | | 断熱材 | 二 | JIS A 9504 (人造鉱物繊維保存材) に定めるロックウール | | 基数 | 二 | 2 | | 添付図 | 第1.1-1図 | | | 構造図 | 第1.2-3図, 第1.2-4図 | | | 特記事項 | 外気に直接触れる炭素鋼部については、JIS H 9300によりアルミニウム溶射を施工する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 貯蔵ピット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 間接自然空冷貯蔵方式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構成 | 収納管及び通風管 各80本/基 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容量 | ガラス固化体720本/基 (ガラス固化体9本/収納管1本) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計条件 | 主要寸法 | 収納管 | 内径 | 442mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 厚さ | 11.4mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 長さ | 15600mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 通風管 | 内径 | 582mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 厚さ | 10mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 長さ | 12000mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要材料 | 収納管 | 二 | SM400A JIS G 3106 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 通風管 | 二 | SM400A JIS G 3106 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 支持架構 | 二 | STKR490 JIS G 3466 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 二 | STPG370 (支柱) JIS G 3454 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 断熱材 | 二 | JIS A 9504 (人造鉱物繊維保存材) に定めるロックウール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基数 | 二 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 添付図 | 第1.1-1図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構造図 | 第1.2-3図, 第1.2-4図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 | 外気に直接触れる炭素鋼部については、JIS H 9300によりアルミニウム溶射を施工する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

仕様表の記載項目 (機種区分：貯蔵建屋床面走行クレーンのしゃへい容器)

| 既設工認 | | | | 仕様表記載案 | | | | 発電炉工認 | | |
|----------------|-----------|-----------|--|---|--------------|---------|---------------------|----------|--------|--|
| (ガラス固化体貯蔵建屋) | | | | | | | | 該当する設備なし | | |
| 名称 | | 二 | 貯蔵建屋床面走行クレーン | | 名称 | | 変更前 | | 変更後 | |
| 種類 | | 二 | しゃへい容器付床面走行形 | | 種類 | | 貯蔵建屋床面走行クレーンのしゃへい容器 | | しゃへい容器 | |
| 設計条件 | | 耐震クラス | | 二 | B (しゃへい容器はA) | | S | | | |
| 仕様 | クレーン | 容量 (定格荷重) | | t | 4 | | 1512 | | | |
| | | 台数 | | 二 | 1 | | 100+260 | | | |
| | しゃへい容器 | 主要寸法 | 内径 | | mm | 1512 | | | 180 | |
| | | | 頂部 | 鉄部 | mm | 100+260 | | | 340 | |
| | | | | ポリエチレン部 | mm | 180 | | | 250 | |
| | | | 胴部 | 鉄部 | mm | 340 | | | 5700 | |
| | | | | ポリエチレン部 | mm | 250 | | 1 | | |
| | | | 全高 | | mm | 5700 | | | | |
| 基数 | | 二 | 1 | | | | | | | |
| 添付図 (配置図, 構造図) | | | | 第 1.1-2 図及び第 2.1-1 図に示す。 | | | | | | |
| 特記事項 | | | | (1) つりワイヤの二重化を施す。 (2) 電源喪失時にもガラス固化体を保持できる構造とする。 (3) 収納管内面を観察するための予備的措置として、ケーブルを通せるようにしゃへい容器上部スクリュウダクトを取り外せる構造とする。 | | | | | | |
| (ガラス固化体貯蔵建屋B棟) | | | | | | | | | | |
| 設計仕様 | 名称 | | 貯蔵建屋床面走行クレーン | | | | | | | |
| | 種類 | | しゃへい容器付床面走行形 | | | | | | | |
| | 容量 (定格荷重) | | 4 t | | | | | | | |
| | 台数 | | 1 | | | | | | | |
| | 配置図 | | 第 1.1-1 図 | | | | | | | |
| | 構造図 | | 第 1.2-1 図, 第 1.2-2 図 | | | | | | | |
| | 特記事項 | | (1) しゃへい容器付きトロリは、ガラス固化体貯蔵建屋の貯蔵建屋床面走行クレーンと共用する。 (2) ガラス固化体貯蔵建屋の貯蔵建屋床面走行クレーン及びガラス固化体貯蔵建屋B棟の貯蔵建屋床面走行クレーンが東単に停止していない限りしゃへい容器付きトロリを移動できないインターロックを設ける。 (3) 故障時にも手動操作にて走行及び横行の移動ができる構造とする。 (4) 貯蔵建屋床面走行クレーンの人が触れる恐れのある部分には、汚染防止に係る塗装を行う。 | | | | | | | |

仕様表の記載項目 (機種区分：北換気筒)

| 既設工認 | | | | 仕様表記載案 | | | | 発電炉工認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|--|---|---------|-------------------|--|--|-------|---------|--|--|------|-------|---|---|-------|---|----|----|------|------|---|-----|-------|---|------|------|------|---|---------|-----|---|-------|--------------|------------|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|-----|--|----|--|---|--|--|--|----|--|--|--|--|--|------|-------|---|-----------------|--|--|----|------|------------------|---|-----|--|---------------------|---|------|--|------|--|---|---------|--|--|------------------|--|---|---|--|--|---|--|--|--|--|--|-----|--|-----|--|----|--|------|--|--|--|----|--|---|---|--|--|------|------------------|----|------------------------|--|--|--------|---|-------------------|--|--|----|--|---|-------|--|--|----|--|---|---|--|--|
| <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td colspan="3">ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td colspan="3">六角鉄塔支持形</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計条件</td> <td>耐震クラス</td> <td>二</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>流体の種類</td> <td>二</td> <td>空気</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">仕様</td> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>出口内径</td> <td>m</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>地上の高さ</td> <td>m</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>主要材料</td> <td>二</td> <td>SMA41BP</td> </tr> <tr> <td>支柱材</td> <td>二</td> <td>STK41</td> </tr> <tr> <td>添付図 (構造図)</td> <td colspan="3">第1.-1図に示す。</td> </tr> </table> | | | | 名称 | ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒 | | | 種類 | 六角鉄塔支持形 | | | 設計条件 | 耐震クラス | 二 | C | 流体の種類 | 二 | 空気 | 仕様 | 主要寸法 | 出口内径 | m | 1.9 | 地上の高さ | m | 75.0 | 主要材料 | 主要材料 | 二 | SMA41BP | 支柱材 | 二 | STK41 | 添付図 (構造図) | 第1.-1図に示す。 | | | <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">変更前</td> <td colspan="2">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="4">北換気筒 (ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒) ^{1) 2)}</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="4">六角鉄塔支持形 (制震装置付き [減衰係数: □□³⁾]) ⁴⁾</td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td>耐震クラス</td> <td>二</td> <td colspan="3">C ⁵⁾</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">仕様</td> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>内径⁶⁾</td> <td>m</td> <td colspan="2">1.9</td> </tr> <tr> <td>地上の高さ⁷⁾</td> <td>m</td> <td colspan="2">75.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>二</td> <td colspan="3">SMA41BP</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数⁸⁾</td> <td>二</td> <td colspan="3">1</td> </tr> </table> <p>注記 1): 北換気筒 (ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒) の支持構造物は、再処理施設と共用する。 2): 記載の適正化を行う。既設工認には「ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒」と記載。 3): オイルダンパの減衰係数を示す。 4): 記載の適正化を行う。既設工認には「六角鉄塔支持形」と記載。 4): 支持鉄塔及び基礎は、検討用地震動 Sc で間接支持構造物としての支持機能が維持されていることの確認を行う。なお、北換気筒 (ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒) は、基準地震動 Ss にて安全上重要な施設に波及的影響を与えないように設計する。 5): 記載の適正化を行う。既設工認には「出口内径」と記載。 6): 記載の適正化を行う。既設工認には「地上の高さ」と記載。 7): 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p> | | | | | | 変更前 | | 変更後 | | 名称 | | 北換気筒 (ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒) ^{1) 2)} | | | | 種類 | | 六角鉄塔支持形 (制震装置付き [減衰係数: □□ ³⁾]) ⁴⁾ | | | | 設計条件 | 耐震クラス | 二 | C ⁵⁾ | | | 仕様 | 主要寸法 | 内径 ⁶⁾ | m | 1.9 | | 地上の高さ ⁷⁾ | m | 75.0 | | 主要材料 | | 二 | SMA41BP | | | 個数 ⁸⁾ | | 二 | 1 | | | <p>(16) 排気筒の名称、種類、主要寸法、材料及び個数 (内筒及び外筒の別に記載すること。)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">変更前</td> <td colspan="2">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="4">主排気筒</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>二</td> <td colspan="3">鉄塔支持型鋼製 (制震装置付き [減衰係数: □□^{*1)}])</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>内径^{*2}</td> <td>mm</td> <td colspan="3">4500^{*3, *4}</td> </tr> <tr> <td>地上上の高さ</td> <td>m</td> <td colspan="3">140^{*4}</td> </tr> <tr> <td colspan="2">材料</td> <td>二</td> <td colspan="3">SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>二</td> <td colspan="3">1</td> </tr> </table> <p>注記 注1: オイルダンパの減衰係数を示す。 注2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「筒身内径」と記載。 注3: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「4.5 m」と記載 注4: 公称値を示す。</p> | | | | | | 変更前 | | 変更後 | | 名称 | | 主排気筒 | | | | 種類 | | 二 | 鉄塔支持型鋼製 (制震装置付き [減衰係数: □□ ^{*1)}]) | | | 主要寸法 | 内径 ^{*2} | mm | 4500 ^{*3, *4} | | | 地上上の高さ | m | 140 ^{*4} | | | 材料 | | 二 | SS400 | | | 個数 | | 二 | 1 | | |
| 名称 | ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 六角鉄塔支持形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計条件 | 耐震クラス | 二 | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 流体の種類 | 二 | 空気 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕様 | 主要寸法 | 出口内径 | m | 1.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地上の高さ | m | 75.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主要材料 | 主要材料 | 二 | SMA41BP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 支柱材 | 二 | STK41 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 添付図 (構造図) | 第1.-1図に示す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 変更前 | | 変更後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | | 北換気筒 (ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒) ^{1) 2)} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | | 六角鉄塔支持形 (制震装置付き [減衰係数: □□ ³⁾]) ⁴⁾ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計条件 | 耐震クラス | 二 | C ⁵⁾ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕様 | 主要寸法 | 内径 ⁶⁾ | m | 1.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地上の高さ ⁷⁾ | m | 75.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主要材料 | | 二 | SMA41BP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個数 ⁸⁾ | | 二 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 変更前 | | 変更後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | | 主排気筒 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | | 二 | 鉄塔支持型鋼製 (制震装置付き [減衰係数: □□ ^{*1)}]) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要寸法 | 内径 ^{*2} | mm | 4500 ^{*3, *4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地上上の高さ | m | 140 ^{*4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材料 | | 二 | SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個数 | | 二 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※: 表中の「□□」は、マスキング対象